

景観の名称	正眼寺
景観の説明	<p>応永元年に当時の尾張地方の領主が、下津郷の古刹伝法寺の廃跡を再興し、青松山正眼寺と称した。</p> <p>その後現在の地に移転し、尾張藩主の庇護を受けて隆盛を誇ったといわれる。</p> <p>なお、正眼寺所有の金銅の釈迦誕生仏は国の文化財であり、現在は奈良国立博物館に展示されている。</p>
景観の所在地	小牧市三ツ淵29-1
撮影場所	正眼寺境内(正面より本堂を眺める)
撮影年月日	平成18年3月30日

